

建学の日・スクールカラーを制定 ～建学の理念を末永く継承していくために～

[CONTENTS]

- 2 建学の日制定／スクールカラー制定
- 4 2004年度決算および事業報告について
- 6 桃李の人々
- 9 データに見る成蹊大学の實力
- 10 募金局だより／学園トピックス
- 12 大学の近況
- 14 中学・高等学校の近況
- 15 小学校の近況
- 17 健康支援センターから
- 18 2006年度 入学試験日程
- 19 役職者一覧／在学生および教職員数
- 20 学校行事予定(7月～9月)／学園史料紹介

学園内のアジサイ



建学の日を制定

三月二十三日を「建学の日」と定め、
成蹊学園の創立の理念を未来に継承していくこととしました。

成蹊学園の前身である「成蹊実務学校」は、一九二二(明治四十五年)年三月二十三日、開校式直前に校舎を全焼するという不運に見舞われました。しかし、創立者・中村春二先生は、この日を「火災記念日」とし、教育に対する不退転の決意をするに至ったのです。成蹊学園では、この日を建学の理念を継承するに最も相応しい日付であるとの結論に達し、「建学の日」として永く継承していくこととしました。



開校直前の成蹊実務学校

開校十日前に危機に直面した「成蹊実務学校」

一九二二(明治四十五年)年三月二十三日、午前零時半。成蹊学園のスタートとなる「成蹊実務学校」の開校式を十日後に控えたこの日、隣接する豊島師範学校の寄宿舎から突然火の手が上がりました。火は折からの烈風に煽られて、またたく間に燃え広がります。火の粉は新校舎にまともに吹きつけてきたのです。紅蓮の炎は、地を這うように麦畑を越えて、まず平屋建ての校舎に燃え移り、次いで本館を炎に包み込んでいきました。

春二先生は、塾生や村人たちの協力を得て、書籍室に保管されていた貴重な書籍や資料を死にもの狂いで搬出しました。火の見やぐらからは「すりばん」が打ち鳴らされ、手押しの消防車も駆けつけてきました。しかし、烈風の中で手の施しようもなかったといえます。

半年を費やして建てられた苦心の新校舎は、みるみるうちに灰燼と化し、そこに広がるのは、成蹊園の寮一棟を残しただけの、見るも無残な光景でした。成蹊学園は開校前から危機に陥ってしまったので

す。この火事は、豊島師範学校の寮生が、落第の恨みをはらすために寄宿舎に放火したものでした。

不屈の精神で一週間後、仮校舎再建へ

焼け跡にまる一日たらずで瞑想していた春二先生でしたが、ここから先生の不屈の精神が目を覚ますこととなります。すべてを予定どおりに遂行するという一大決心をしたのです。

「教育は校舎ではない。教師と生徒さえあれば、たとえ野原の上に立つても教育はできる」

こう決心すると、早速、新校舎の再建を計画しました。

当時の事情を春二先生は、火災の二日後「紅蓮の舌」と題して次のように記しています。

「人生多事、災厄頓挫はもとより期するところと思ふと、ふと原の青草が目にとまった。ああ冬焼かれた草原も春ともなれば又芽ぐんで来たのである。焼かれたままでは草にも劣つてゐる。家は焼き尽されたが、私の志は決して祝融(中国の火を司る神)氏の自由に任せない、と思った」



成蹊実務学校第一期入学生

火災を契機として信念の教育家に生まれ変わる

この火災のことは新聞にも大きく報道されました。一番びっくりしたのは、とりもなおさず新入生たちだったでしょう。開

校式に招待された人々は、この学校は取りやめになるか、秋の新学期まで延期になるだろうと誰しもが考えていました。ところが、春二先生は三月二十五日付けで「すぐ仮校舎を建てて予定通りに授業を開始致します」という挨拶状を各方面に送り、関係者を二度びつくりさせたのです。

予定どおり開校式を行うという通知を受けた賛助員の岩崎小弥太氏は大いに喜び、早速旅行先から、

「カイコウシキライワフ、リソウニマイシンサレタシ、コヤタ」と電報を打ってきました。

この火災はとんだ災難でしたが、春二先生にとっては得難い試練であったといえます。同じく賛助員の今村繁三氏は、「この火事で、中村君は全く人が変わりました。どちらかといえば、やさ男の理想家肌の文学青年が、急にたくましい鉄人に変わったようだ」と批評しました。春二先生は、この災害を契機として信念の人に生まれ変わったのでした。

「火災記念日」から「建学の日」へ 新しい成蹊学園の歴史が始まる

そして四月二日、仮校舎において「成蹊実務学校」の入学式が予定どおり執り行われました。春二先生は、新入生に対し、「教育は建物ではなく精神である。教える者と、学ぶ者との心さえ通えば、たとえ野原に立っていても教育はできる。仮校舎はみすぼらしいが、ここは桃李の里である。桃李物言わずといえども、下自ら蹊となす」という言葉を味わってほしい。自分を磨いて美しい人格をつくれれば、その



成蹊実務学校校舎

人はたとえ何も言わなくとも、自ら世間に認められるようになる」と、論じました。以後、三月二十三日は「火災記念日」として成蹊学園にとって大いに記念すべき日となったのです。春二先生は「この火災は今から考へると我々のために却って祝福すべきものである。我々は火事のために物質的には多大の損失を被ったが、精神的には却って大いに利益を得た訳である。この意味に於いて火災記念日を一種の祝日としてかくの如く祝ふのである」と述べています。

成蹊学園では、この日が春二先生が教育に対する不退転の決意をされた日として、建学の理念を継承するに最も相応しい日付であるとの結論に達しました。よって、この日を「建学の日」とし、永く継承していくことといたしました。

■ スクールカラー制定

成蹊学園の建学の理念を象徴する スクールカラーを制定しました。

成蹊学園では、このたび、建学の理念「個性と自由の尊重」を具体化するものとして、学園を象徴するスクールカラーを制定しました。

「紺青(こんじょう)色」という色で、日本に伝統的に伝わる色彩の1つです。もともとは藍銅鉱を原料とした顔料で、尾形光琳の「燕子花図(かきつばたず)」の燕子花の花も紺青色で描かれています。また、西洋の王室の色として使用される「ロイヤルブルー」に近い色でもあります。

成蹊学園では、1939(昭和14)年に最初の校旗を作製しましたが、紺青色はこの旗地に用いられ、戦後から今に続く校旗にも継続して使用されています。

この紺青色をスクールカラーの柱に、体育会系のクラブや卒業生などの間で永年愛用されている「黒赤黒」も、スクールカラーとともに継続して使用していきます。さらに、本館のレンガ色、樺並木の若草色、桃李と桜並木の桜色の3色を、スクールカラーを補完する色として使用し、校章やロゴマーク、ロゴタイプ、100周年マークなど、色彩のコンビネーションに配慮して展開してまいります。

今後、スクールカラー全体の色彩計画を整備し、マニュアル化することで、より効果的に学園のイメージを伝達できるようにしていきたいと考えています。

成蹊学園

紺青(ロイヤルブルー)



2004年度決算および事業報告について

第1表【消費収支計算書】

2004(平成16)年4月1日から2005(平成17)年3月31日まで

第2表【資金収支計算書】

2004(平成16)年4月1日から2005(平成17)年3月31日まで

(単位:百万円)

消費収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金	10,895	10,866	△ 29
手数料	753	750	△ 3
寄付金	376	423	47
補助金	1,441	1,663	222
資産運用収入	340	387	47
事業収入	185	255	70
雑収入	446	476	30
帰属収入合計	14,436	14,820	384
基本金組入額合計	△ 2,989	△ 3,027	△ 38
消費収入の部合計	11,447	11,793	346
消費支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費 (教職員等件費)	7,976	7,790	△ 186
(退職給与引当金繰入額)	(7,605)	(7,419)	(△ 186)
教育研究経費 (うち減価償却額)	(371)	(371)	(0)
管理経費 (うち減価償却額)	4,454	4,311	△ 143
(うち減価償却額)	(1,747)	(1,751)	(4)
管理経費	874	845	△ 29
(うち減価償却額)	(175)	(172)	(△ 3)
借入金等利息	73	73	0
資産処分差額	210	240	30
徴収不能引当金繰入額	16	9	△ 7
徴収不能額	0	17	17
〔予備費〕	(170)		0
消費支出の部合計	13,603	13,285	△ 318
当年度消費収支差額	△ 2,156	△ 1,492	
前年度繰越消費収支差額	1,366	1,366	
次年度繰越消費収支差額	△ 790	△ 126	

(単位:百万円)

収入の部			
科目	予算	決算	差異
学生生徒等納付金収入	10,895	10,866	△ 29
手数料収入	753	750	△ 3
寄付金収入	376	395	19
補助金収入	1,441	1,663	222
資産運用収入	340	387	47
資産売却収入	599	401	△ 198
事業収入	185	255	70
雑収入	446	476	30
借入金等収入	0	1	1
前受金収入	1,992	2,565	573
その他の収入	4,224	4,270	46
資金収入調整勘定	△ 2,904	△ 3,022	△ 118
前年度繰越支払資金	8,311	8,311	
収入の部合計	26,658	27,318	660
支出の部			
科目	予算	決算	差異
人件費支出 (教職員等件費支出)	8,326	8,057	△ 269
(退職金支出)	(7,620)	(7,419)	(△ 201)
教育研究経費支出	(706)	(638)	(△ 68)
管理経費支出	2,706	2,560	△ 146
管理経費支出	700	672	△ 28
借入金等利息支出	73	73	0
借入金等返済支出	190	190	0
施設関係支出	1,719	1,372	△ 347
設備関係支出	597	594	△ 3
資産運用支出	4,894	4,996	102
その他の支出	1,301	1,322	21
〔予備費〕	(224)		△ 26
資金支出調整勘定	△ 771	△ 604	167
次年度繰越支払資金	6,897	8,086	1,189
支出の部合計	26,658	27,318	660

第3表【貸借対照表】

2005(平成17)年3月31日

(単位:百万円)

資産の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定資産	68,687	67,601	1,086
有形固定資産	40,448	40,611	△ 163
土地	6,111	6,111	0
建物・構築物	27,711	28,529	△ 818
教育研究用・その他の機器備品	1,847	1,836	11
図書	4,322	4,133	189
その他	1	2	△ 1
建設仮勘定	456	0	456
その他の固定資産	28,239	26,990	1,249
有価証券	373	379	△ 6
特定資産	27,573	26,339	1,234
その他	293	272	21
流動資産	15,486	15,945	△ 459
現金預金	8,086	8,311	△ 225
有価証券	6,744	7,143	△ 399
その他	656	491	165
資産の部合計	84,173	83,546	627

(単位:百万円)

負債の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
固定負債	7,054	7,503	△ 449
長期借入金	1,207	1,390	△ 183
退職給与引当金	5,847	6,113	△ 266
流動負債	3,470	3,929	△ 459
前受金	2,569	2,373	196
その他	901	1,556	△ 655
負債の部合計	10,524	11,432	△ 908
基本金の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
第1号基本金	61,216	59,390	1,826
第2号基本金	3,643	2,500	1,143
第3号基本金	7,832	7,774	58
第4号基本金	1,084	1,084	0
基本金の部合計	73,775	70,748	3,027
消費収支差額の部			
科目	本年度末	前年度末	増減
次年度繰越消費収支差額	△ 126	1,366	△ 1,492
消費収支差額の部合計	△ 126	1,366	△ 1,492
負債の部、基本金の部 および消費収支差額の部合計			
科目	本年度末	前年度末	増減
負債の部、基本金の部 および消費収支差額の部合計	84,173	83,546	627

このたび私立学校法の改正があり、学校法人の財務情報の公開を積極的に行うよう求めています。決算の概要に加え、その年度にどのような事業を行ったかを説明し、健全な学校運営が行われていることを示さなければなりません。成蹊学園では、従来から学園広報やホームページ等で積極的に財務の状況を開示してまいりましたが、法の趣旨に則って、今後も財務情報の公開を進めてまいります。

さて、学校法人成蹊学園の2004年度決算は、学園監事および公認会計士の監査を受け、5月30日の理事会・評議員会において、確定いたしました。第1表の消費収支計算書についての概要は、次のとおりです。

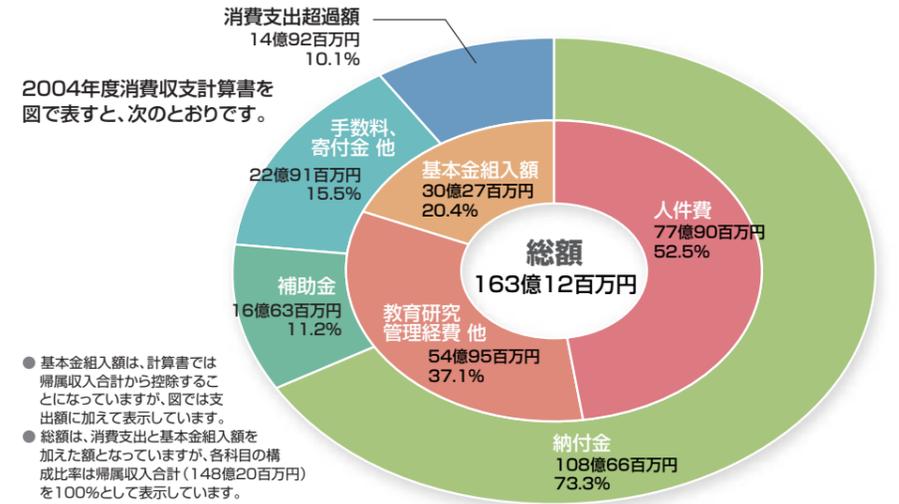
納付金、手数料、補助金、資産運用収入などの本学園に帰属する「帰属収入」は合計で148億20百万円となりました。また、「基本金組入額」の合計は30億27百万円となり、うち第1号基本金は、2004年度に建設・購入等により取得した、建物、機器備品、図書等の資産分として13億69百万円、第2号基本金は将来の校舎取得等を目的とした施設設備整備資金の積上げに係る計画組入分の16億円、第3号基本金は奨学金基金と工学研究助成基金の積上げ分の58百万円となっています。

帰属収入からこの基本金組入額を控除した額が、消費(支出)に充当できる「消費収入」で、その額は117億93百万円となりました。

一方、教職員の人件費、教育研究・管理経費(減価償却額を含む)、借入金利息等の「消費支出」の合計は、132億85百万円となり、この結果、消費収入から消費支出を差し引いた消費収支差額は、14億92百万円の消費支出超過となりました。

消費収支計算書のおもな増加・減少要因等は次のとおりです。

- 納付金は帰属収入に占める最大の収入要因であり、その割合は約73.3%となりました。
- 手数料の減少は大学の一般入試の志願者数の減少のためです。
- 寄付金は学園創立100周年記念のご寄付により増加しました。
- 補助金は納付金に次ぐ収入源です。2004年度は、大学教員の増員、教員1人当たり学生数の減少等により補助金計算上の基礎数値が改善したこともあり、私立大学等経常費補助金が増加しました。
- 当年度の収支差額は21億56百万円を見込んでおりましたが、帰属収入が3億84百万円増額したこと、消費支出が3億18百万円減少したことから、14億92百万円の消費支出超過にとどまりました。
- 第2表の資金収支計算書は、教育研究など学園全体の諸活動に伴う資金の動きが全て網羅されており、総額は273億18百万円となり、次年度繰越支払資金は80億86百万円となりました。
- 資金収支計算書のおもな増加・減少要因は次のとおりです。
- 前受金収入は、2005年度新入生からの納付金



● 基本金組入額は、計算書では帰属収入合計から控除することになっていますが、図では支出額に加えて表示しています。
● 総額は、消費支出と基本金組入額を加えた額となっていますが、各科目の構成比率は帰属収入合計(148億20百万円)を100%として表示しています。

がおもなものです。入学予定者が定員より多かったことにより増加しました。

- 人件費支出は、派遣スタッフの採用等雇用形態の多様化を進めたこと等により当初見込みより減少しました。
 - 施設関係支出は、情報図書館の着工が当初計画から1カ月遅れたため、出来高に応じた今年度の建築費用が減少しました。
- 2004年度に実施したおもな事業は次のとおりです。

創立100周年記念事業

- 情報図書館建築
創立100周年記念事業の大きな柱となる「情報図書館」が、2006年6月の竣工を目指して、昨年12月に着工されました。多彩な情報機能を備えた地上5階、地下2階、収蔵冊数120万～150万冊の図書館の開設は教育・研究の推進に大きな期待がかかります。
- 小学校校舎改修
小学校で2005年度から開始する28人学級体制の準備のため、トンネル山校舎の建築および小学校中央館2階を改修し、教室の増設を行いました。

研究活動の高度化および産学連携

- 法科大学院の開設
法曹養成を教育目標とし、新司法試験に合格することのできる基礎的な理論的および実務的能力を育成するため、「法科大学院」が新しく開設され、第一期生として71名の学生が入学しました。少人数、双方向型、昼夜開講の授業を行い、また、専用図書室の設置、学生研究室の整備、奨学金の充実等学習環境の向上を図っています。
- 理工学部開設準備
工学部は複雑で多様な現代社会における学部教育とは何か、根本的な改革を検討してきました

が、2005年度から理工学部へと生まれ変わることになりました。現在の5学科体制を物質生命理工学科、情報科学科、エレクトロメカニクス学科の3学科とし、学生のニーズ、社会的要請を大きく取り込んだ教育を実践することになります。この開設準備のため、カリキュラムの開発などが行われました。

- 経済学部の学科再編
経済学部は自立した職業人の育成を目指し、従来の経済学科、経営学科の2学科を統合した「経済経営学科」の1学科体制に再編しました。これにより経済学、経営学といった学科の枠組みにとらわれず、学生一人ひとりの関心と意欲に応じた多様で自由度の高い画期的なカリキュラムが実現できました。

大学院整備・学部改編

- 大学院工学研究科
「ハイテク・リサーチ・センター」設置
工学研究科に設置された研究機関であるハイテク・リサーチ・センターが、文部科学省の私立大学学術研究高度化推進事業であるハイテク・リサーチ・センター整備事業として選定され、設備・研究スタッフ等への総合的支援を受けることとなりました。2004年度から5年計画で3つの研究プロジェクトにおいて、11のテーマで研究活動が進められます。

学習・教育環境の整備

- 学習・教育環境を整えるため大学視聴覚教室設備の更新・保守
- 学生会館の地下を防音設備の整った音楽室に改修
- 1号館に替わる教室棟として北1号館の設置
- 大学西部室第3号棟内外壁の改修
- 中高IT環境整備(コンピュータ教室のシステム再構築、図書室にパソコン45台設置)
- 中高特別教室棟舞台照明装置の改修

桃李の人々

第6回

ヴィジュアリストとして、映画監督をはじめイベントの演出、デジタルソフトの開発など、多彩な活躍を見せているのが、手塚眞さんです。高校時代に自主映画で数々の賞を受賞するなど、成蹊学園時代からクリエイティブな活動を展開していらっしゃいました。

「現在の活動の原点は成蹊学園時代にある」と語る手塚さんに、当時の思い出を語っていただきました。



手塚 眞
Makoto Tezuka
ヴィジュアリスト

文化的に豊かな学園生活を
送ることができたこと。
そこに現在の活動の原点があります。

通学や「凝念」の時間は 貴重な「空想の時間」

——成蹊学園に入学されたのは、
どのような理由からだったのですか。

手塚 小学校から入学していますから、多分に両親の意向だったのですよね。実際に入學してみても、僕自身も素晴らしい環境の学校だと感じましたが、おそらく両親も同じ気持ちだったと思います。桜並木、樺並木があり、広い校庭があって……そのたまたまい自体がとても印象的でした。当時、新校舎を建設中で、旧校舎もそのまま残されていましたから、校内に小さな探検が楽しめる場所が数多く残されていました。小学生は行つてはいけないうわれていましたが、大学も隣接しており、大学生を見ると、子ども心にそこは大人の世界なのだなと感じたりしていました。工学部の

裏には変な機械やコンピュータシートなどが落ちていて、それをこっそり拾ってきて遊んだこともありま

す。校内が一つの街のような感じで、刺激に満ちていましたね。

また、自由で伸びやかな校風であるとともに、「凝念」に代表されるようにきちんとした教育も行われていました。そのバランスの良さが、僕にとっては心地よく感じられました。

——手塚さんの性格に合う学校だったということでしょうか。

手塚 そう思います。当時、僕の自宅は練馬区富士見台にあり、学校までは電車とバスを乗り継いで一時間以上かかりました。小学生にとつてはけっこうな道のりですが、それでも学校に行きたくないと思うことはほとんどありませんでした。ただ、一度だけ、台風の日、あまりにも雨足が強く、自宅に引き返したことがあります。でも、母から絶対に行きなさいと追い出されて

しまいました。その時は、さすがに先生の方が心配されて、あまり無理をさせないようにと母が注意されたそうですが(笑)。

——確かに、通学時間一時間以上という、小学生にとってはかなりハードですね。

手塚 特に低学年の頃はちょっとした旅のような感じですが、でも、この時間は、僕にとっては貴重なものでもありました。もともと僕は空想好きな子どもで、歩きながら、あるいは電車・バスの中で、物語を考えるのを楽しみにしていたのです。「凝念」の時間も、最初は退屈だったのですが、だんだん自分なりに時間の使い方を覚えてきて、今振り返ると、空想を楽しむのにちょうど適した時間だったという気がしています。

デザイン部での壁画作製が 「監督」としてのスタート

——現在のヴィジュアリストのお仕

事につながるような感性が、小学校時代から芽生えていらっしゃったわけですね。

手塚 僕がヴィジュアリストとして活動していく上での資質は、成蹊学園時代に培われたものであることは間違いありません。文化的にとっても恵まれた学園生活を送ることができたからです。

——特になんか印象に残っていることがありますか。

手塚 成蹊小学校では、課外授業の時間が設けられており、僕は科学部に入りました。最初にラジオを組み立てたのですが、周りの友人たちが音を鳴らし始める段になっても、僕のラジオだけ組み上がりません(笑)。面白そうだと思つて入ったのに、これはどうも機械いじりには合いません。そこで、先生に相談して、デザイン部に転部することにしました。これは大正解で、とても楽しく活動することができ



手塚 眞(てづか・まこと)

1961年8月11日東京生まれ。
成蹊高校在学時に8ミリ映画を作り始め、コンテストで受賞。大島渚ら映画監督に高く評価される。85年、ミュージシャンの近田春夫原案・製作総指揮による長編ミュージカル映画「星くず兄弟の伝説」を監督、全国公開する。以降、ヴィジュアルistという肩書で、実験的な短編映画からハイヴィジョン、CGなど、あらゆる映像メディアで先鋭的な作品にチャレンジしている。99年、10年がかりで企画された長編劇映画「白痴」を完成、全国公開。ヴェネチア国際映画祭に正式招待され、デジタル・アワードを受賞。また「宝塚市立手塚治虫記念館」のプロデュースや公式ホームページの総監修など、手塚治虫氏の遺族としての活動も行っている。現在、テレビアニメ「ブラック・ジャック」(日本テレビ系)の監督を行っている。

ました。適性がなければ、他のクラブへ移ることもできる。そんな柔軟な体制がとられていたことは、僕にとつては幸運でした。

——やはり、デザインには相当な興味を持っていらっしやったのですか。

手塚 父(漫画家の手塚治虫氏)の影響もあつて、絵を描くのが好きな子どもでしたから……。ただ、当時はまだデザインという言葉は一般的には使われておらず、裁縫、刺繍の延長のように考えられていたように、デザイン部の男子生徒は僕一人だけでした。その分、逆に、顧問の太田浪三先生にはよく声をかけていただき、楽しく活動できるように配慮してもらった記憶があります。

——デザイン部の活動で思い出に残っていることはどのようなことですか。

手塚 旧校舎の給食室に壁画を描こうという話がデザイン部に持ち込まれたことがあります。その時、太田先生に監督として指名されました。小学校四年生の時のことで、これが僕が監督と呼ばれた最初の経験です。実は、その頃にはすでに、将来は映画監督になりたいという夢を抱いていました。それだけに、監督と呼ばれるのはとてもうれしかったですね(笑)。

友人たちとの遊びをプランニングする係だった

——映画監督を目指していたとい

うことは、自分一人で創作するよりも、チームで一つの作品を仕上げていく方に興味があったということでしょうか。

手塚 両方に興味を持っていました。先ほど申し上げたように、空想して物語を創るといふ一人だけの世界も好きでしたし、皆で集まって作り上げることも好きでした。後の面という、放課後、友人たちと何をして遊ぶかを考える係を僕が務めていました。今日はジャンダリズムに行つて、こんな遊びをしようとか、あるいは新しい遊びを考案して、例えばかくれんぼと鬼ごっこを組み合わせて、こんな遊びにしようといったルールを考えたり……。

——いわばプランナーですね。

手塚 そうですね(笑)。友人たちも、僕の役割を認めてくれていたようで、中学生になつてからも、学園祭の出し物などは、僕がプランを立てて、皆で取り組むといった雰囲気になつていました。

——学園祭の出し物には、どんなものがあつたのですか。

手塚 一年生の時は人形劇で、脚本・監督を担当しました。三年生では、映画製作を企画したのですが、本格的な機材がないため、紙芝居スタイルのスライド映画を製作しました。写真でコマ撮りして場面を作り、上映するというものです。この時も脚本・監督を務めました。そのほか、中学時代には、写真部に

所属していましたし、雑誌委員会の委員長も務め、校内の様々な話題を取材したり、原稿を依頼したり……。また、様々なクラス行事も企画しました。今振り返ると、現在の僕の仕事は、完全に当時やつていたことの延長線上にあるということに改めて気づかされますね。

——クラス行事では、どのようなものを企画したのですか。

手塚 担任の坂東行和先生がチャップリンの映画が大好きで、その話題で盛り上がり、先生の引率でクラス有志でチャップリンの映画を観に行ったこともあり。ある意味では、生徒と映画の話をしようという先生がいること自体がめずらしいことかもしれません。たまたま幸運だったのか、成蹊学園の先生が皆そうだったのかはわかりませんが、僕はとても先生に恵まれた気がします。ユニークで、話をする中で、人間味が伝わってくるような先生が多かったですね。

高校時代の自主映画で数々の賞を受賞

——そうしたクリエイティブな活動は、高校に入学されてからも続けられたのですか。

手塚 小中学校には映画関連のクラブがなかったので、高校ではすぐに映画研究部に飛び込みました。そして、高校二年生の時に製作した自主映画がいくつかの賞を受賞

しました。それが僕の現在のキャリアの原点であり、その後も一直線にこの道を歩んできました。

——どんな映画だったのですか。

手塚 『FANTASTIC★PARTY』という題名の約五十分間の映画です。高校生の様々なエピソードを基軸として、その合間にお化けやUFOなど、ファンタジー的な色合いを加味しています。今観ると稚拙ではありますが、素人なりに観客を楽しませようという工夫を凝らしています。学園祭で上演したところ、他校の生徒も含めてたくさんの人が観にきてくださいました。その際に、自主映画を製作している他校の人たちと出会い、一緒に上映会を開催したこともあります。今でもその結びつきは続いており、貴重なものになっています。こうした経験を通して、高校を卒業する頃までには、もう完全に「僕は映画の世界で生きていくんだ」と決意していました。

——映画製作の際に、お父様の影響というのはあったのでしょうか。

手塚 直接的な影響というよりも、やはり幼い頃から、製作現場で育つていきますから、僕にとつては、モノを製作するというのは、生活の一部といった感じですね。

それに加えて、これまでお話ししてきたように、小・中・高校の学園生活の流れの中で、きわめて自然に

クリエイティブな活動に携わることができたことが大きいと思います。どんな子どもでも、将来何になりたいのか、夢を見る瞬間があります。特に僕は空想好きな、夢見がちな少年だったので、こんなふうになれたらいいなど、よく夢を抱いていました。その夢をそのまま目標にすることができたのは、成蹊学園にその夢を支えてくれる文化的な環境があったからです。先生や友人たち、さらには両親も含めて、僕のやることを面白がり、応援してくれました。だからこそ、よし、もつと面白いものを作ろうという意欲を湧き立たせることができたのです。今にして思えば、それが可能だったのは、成蹊学園ならではの持ち味という気もします。一般的な公立学校だったら、おそらくこうはいかなかったのではないのでしょうか。本当に、文化的に豊かな学園だったと痛感しています。

凝念の教えが 映画製作にも役立つ

——卒業後、ヴィジュアルリストとして活躍されているわけですが、映画監督ではなく、あえてヴィジュアルリストと名乗っている理由は、どのような理由からですか。

手塚 大学生の時に思いついた言葉なのですが、映画監督と限定せずにもっと幅広いものを扱える職業

名があつてもいいと考えたのです。当時、ホームビデオの普及や、コンピュータ技術の進展など、メディアは過渡期にあり、それに伴って、多様な仕事が出現するだろうという思いもありました。

——その選択は正解だったと考えたいらっしゃいますか。

手塚 そう思います。予想していた以上に、多様なメディアが一举に動きだしましたから……。それらを誰が製作できるのかとなった時に、映画監督ができるとは思わない。ヴィジュアルリストという肩書はよくわからないけど、何とかしてくれるのではないかとということで、僕に声がかかるケースも少なくありませんでした。そうした新しいメディアとの出会いに恵まれたことは、いい勉強にもなりました。

——映画製作の上で、何か心掛けていらっしゃることはありますか。

手塚 僕は映画作りの極意は「待つ」ことにあると考えています。というのも、こんな映画を作りたいと企画を立ててから、完成するまでに十年以上の歳月がかかることも少なくありません。イメージにあう天候になるまで待ち続けなければならぬこともあります。また、俳優の演技にしても、繰り返し演じる中で、次第に素晴らしい演技になつていく人もいます。機が熟するのを待つことが大切なのです。そ

れが、気が短い監督になると、待ちきれなくなつてイライラします。すると、その雰囲気の仕事場全体に広がって、結局のところ完成した作品は、どこか余裕のない、豊かさのないものになつてしまいます。

そして、僕はこの「待つ」姿勢を成蹊学園時代に凝念で学んだ気がします。子どもにとつて、じつと動かない三分間は長いものですが、先ほど申し上げたように、空想に浸っていると、意外に気持ちいい時間になります。焦れば焦るほど、実は時間は長く感じてしまう。何があつても、気をどっしりと構えて待つ。そんな監督としての大切な資質を、小学生の頃から身に付けられたわけです。

——最後に、これからの成蹊学園に期待されることをお聞かせください。

手塚 小・中学校時代は、子どもたちが最も精神的に伸びやかに育つ時期です。その時に大切なのは、カリキュラムの内容以上に、心地よい環境のもとで過ごすことだと僕は考えています。その意味で、成蹊学園は、自然環境はもちろん、先生と生徒、生徒同士の人間関係や、文化的な面も含めて、素晴らしい環境を誇っているのですから、いつまでもそれを維持してほしいと願っています。

(インタビュアー/広報課 伊藤昌弘)

データに見る 成蹊大学の实力

少子化による2007年全入時代の到来、国立大学の独立行政法人化、産学連携など、大学を取り巻く環境の変化に伴い、大学に対する社会の関心が年々高まってきております。

こうした中、マスコミにおいても様々な角度から大学の評価を行い、各種ランキングを発表しております。その中の1つに、朝日新聞

社が毎年発行している「大学ランキング」がありますが、成蹊大学は、多岐にわたるランキング項目に数多く登場しております。

「2006年版大学ランキング」における本学の登場項目は以下のとおりです(調査対象は全国687大学ですが、各項目によって対象数は異なります)。

■満足度

～「後輩へのおすすめ度」・「パソコン、インターネットの利用」4位～

学生の満足度	教養教育	19位
	施設・設備	30位
	後輩へのおすすめ度	4位
	教育に熱心	56位
	教育体制(学生数)	24位
	教育体制(パソコン、インターネットの利用)	4位
	カリキュラム(情報処理教育)	33位
	カリキュラム(進路支援)	14位
	授業内容(進んで受けたい)	23位
	授業内容(シラバスと一致)	18位
大学生活(楽しい)	9位	

■就職

～「就職に強い」成蹊大学～

企業が選ぶ「役に立つ」大学	総合	59位
	就職支援に熱心	30位
資格、採用試験	認知度	24位
	司法試験合格者	40位(2人)

■総合

～「高校教諭からの総合評価」は全国で27位・関東では12位～

高校からの評価	総合評価	全国	27位
		関東	12位
	生徒に勤めたい	25位	
	進学して伸びた	35位	

■入試

～「経済学部」全国一の高倍率～

一般入試の倍率(2004年度)	法学部	2位(7.3倍)
	経済、経営、商学部	1位(11.0倍)
	文、外国語学部	7位(6.3倍)
	工、理工学部	4位(5.3倍)
大学の募集力	推薦入試志願者の増加数(2000年/2004年)	13位(1,110人)
Webサイト	総合	20位

■教育

～「大学図書館」総合19位～

大学図書館	総合(学生1人あたりの数値)	19位
	NACSIS-CAT登録件数(図書)	68位(251,566件)
国際ボランティア	参加学生(2000年～2004年)	37位(11人)
女子学生	学部別比率(文、外国語学部)	10位(81.1%)
教員の博士号取得	博士号取得率(経済学部)	23位(15人・48.3%)
	博士号取得率(工、理工学部)	19位(41人・97.6%)

■生活

～「4大ファッション誌」制覇・オシャレな成蹊大生～

学生食堂	学生からの評価	46位	
女性ファッション誌	女性ファッション誌への学生登場	CanCam、JJ、ViVi、Ray 4誌計	12位(140人)
		CanCam	14位(23人)
		JJ	8位(88人)
		ViVi	13位(23人)
		Ray	34位(6人)

■研究

～「工学部(現理工学部)教員のWebサイト保有率」7位～

国際経済学術誌	理論分野	1999年～2004年	21位(1件)
	総合	1975年～2004年	16位(16件)
研究者のWebサイト保有	理工系		7位(58人・82.86%)

■社会

～「メディアへの発信度」総合20位～

メディアへの発信度	全体(2004年)	20位
	全体(2000年～2004年)	48位
	学部、研究科など(2004年)	法学部 14位
	教員(2004年)	加藤 節 法学部教授 9位
	法律誌(学部、研究科など:2000年～2004年)	法学部 26位
	自然科学(学部、研究科など:2000年～2004年)	経済学部 23位
国会議員の出身大学	自然科学(教員:2000年～2004年)	新村秀一 経済学部教授 7位
	全国会議員	31位(2人)
社長の出身大学	自由民主党	19位(2人)
	一部上場	21位(12人)
	二部上場	13位(8人)
	未上場	46位(1,389人)
OB・OG	外資系	24位(8人)
	総合	66位(449人)
	直木賞作家	7位(5人)

成蹊大学体育会アーチェリークラブ男子が1部昇格! ～11年ぶりの快挙～



【男子入れ替え戦試合結果】

大学名	得点
中央大学	3,588点
成蹊大学	3,567点
東京大学	3,557点
立教大学	3,394点



5月8日(日)に明治学院大学横浜キャンパスで行われた関東学生アーチェリー連盟男子リーグ1部2部入れ替え戦で、本学アーチェリークラブ男子が見事1部に昇格しました。出場校は1部の中央大学と東京大学、2部の本学と立教大学で、上位2チームが1部昇格となり、下位2チームが2部に降格となります。本学は東京大学を僅差で破り、11年ぶりに念願の1部昇格を果たしました。

なお、本学卒業生の安倍晋三氏(現 自由民主党幹事長代理)はアーチェリークラブのOBで、一昨年安倍氏が法学部創立35周年記念講演会で本学を訪ねられた際は、行事の合間をぬってクラブの現役学生と交流してくださいました。

佐々木成朗工学部助教授が 「文部科学大臣表彰 若手科学者賞」を受賞!

工学部物質生命理工学科の佐々木成朗助教授がこのたび「平成17年度科学技術分野の文部科学大臣表彰若手科学者賞」を受賞し、4月20日(水)に表彰式が行われました。本賞は、萌芽的な研究、独創的視点に立った研究等、高度な研究開発能力を示す顕著な研究業績をあげた40歳未満の若手研究者を対象として贈られる賞です。

受賞題目は、「計算・物性分野における表面ナノ構造の力学・摩擦理論の研究」で、私立大学では唯一の受賞です。



佐々木 成朗
助教授



理工学部始動

〇〇五年四月、工学部は新しい時代に相応しい学部教育を実現するため理工学部として生まれ変わりました。理工学部では、科学技術の基礎となる理学科目の強化を図り、基礎学力を着実に身に付けることに力を注ぎます。また、実験・演習といった体験型学習と、卒業後の将来を展望する力を養うインターンシップなどのキャリア教育科目を充実させ、社会に対する意識と社会での実践力を養成します。さらに、学際分野に属する科目を数多く設置すると同時に、現代的なテーマを設置した人文科学や社会科学の科目を自由に選択できるようにし、時代と社会に対する広い視野と総合的な判断力が養えるように配慮しています。

て学べる学科となります。また、エレクトロメカニクス学科では、機械工学、電気電子工学、経営情報工学の三分野を有機的に統合したカリキュラムで、モノづくりの基盤技術を総合的に学べる学科です。この三学科において、学生のニーズと企業の要望を両立する教育を実践し、科学技術をもって新たな知識社会に貢献できる人材の育成がスタートしています。

理工学部開設記念行事

理工学部開設記念行事が三月二十四日、大学構内において開催されました。大学四号館ホールで執り行われた開設記念式典では、理工学部長代行の戸谷洋一郎教授から理工学部開設までの経緯説明、栗田恵輔学長および岸曉理理事長の挨拶があり、亜細亜大学の池島政広学長および成蹊会の瀧秀彦会長からはご祝辞をいただきました。

続いて東京大学名誉教授で、ノーベル物理学賞受賞者の小柴昌俊氏を迎え、記念講演会が行われ、一般聴講者約三百五十名を含め、約五百人が聴講しました。「やればできる。」という演題で、幼少期の困難な病気を乗り越えられた体験、ご自身の研究テーマ、また科学技術を国民一人ひとりが支えていく重要性など、貴重なお話をいただきました。講演会終了後は、中庭アトリ

において、園遊会方式の祝賀会を開催し、会食、歓談が和やかに行われました。

午後は、三号館の一階を会場とした研究室を紹介するポスターセッションや学科紹介・入試説明が行われました。また各研究室では、施設設備紹介を行い、理工学部の魅力を伝える一日となりました。

午後、三号館の一階を会場とした研究室を紹介するポスターセッションや学科紹介・入試説明が行われました。また各研究室では、施設設備紹介を行い、理工学部の魅力を伝える一日となりました。

経済学部 キャリア教育始動から一年

昨年度に改組された経済学部のカリキュラムの中で

も、特に多方面から注目されているのが体系化されたキャリア教育です。本格的なキャリア教育の開始から一年が過ぎ、初年度の反省を踏まえながら、様々な改善が行われています。例えば昨年度「キャリアプランニング」の授業は、五百人の学生に対して大教室で行われ、レポートを中心にして学生を指導するというものでした。今年度はさらにきめ細かい授業を目指し、四人の教員が百三十人程度のクラスを分担して受け持っています。このことにより、授業中に、ディスカッションや一分間スピーチなどを実践することができ、新しい授業方法が次々に開発されています。教員側からも学生側からも授業に行くのが楽しく毎週授業が待ち遠しいという感想が聞かれます。また、高等教育におけるキャリア教育の最先端としての評価も高く、マスコミからの取材も多数受けています。

さらに今年度からは、二年次の授業として「キャリアプランニング2」の授業が開始されています。この授業も、民間企業と共同開発されたオリジナルテキストを用いて行われ、かなり密度の濃い経営学的内容を持つっており、ビジネススクールの初級の内容をも含んでいるほどです。内容においても、ケースメソッドやロールプレイなど学生が取りつきやすくなるような工夫が凝らされ、授業の中で事前に課題解決能力が身に

付くような構成になっています。経済学部ばかりではなく、学長をはじめとして大学全体としてもキャリア教育の重要性が確認されており、来年四月には「成蹊大学キャリア支援センター」を開設し、全学的な規模でキャリア教育を構築していくことが予定されています。経済学部以外の学部におけるキャリア教育の内容を検討するために、大学内に「キャリア教育懇談会」が発足しています。

武蔵野市寄附講座

本学では、特色ある教育を推進するために、「寄附講座」(学外の個人または機関から特定の授業科目の設置・運営に

付くような構成になっています。経済学部ばかりではなく、学長をはじめとして大学全体としてもキャリア教育の重要性が確認されており、来年四月には「成蹊大学キャリア支援センター」を開設し、全学的な規模でキャリア教育を構築していくことが予定されています。経済学部以外の学部におけるキャリア教育の内容を検討するために、大学内に「キャリア教育懇談会」が発足しています。

「高橋生が大人(社会人)になっていくプロセスを支援する教育」ということができます。これはまさに個性豊かな自立した人材を育成しようとする成蹊教育の本質に通ずるものです。

二〇〇五年度 オープンキャンパス

今年度のオープンキャンパスは、左記のとおり開催されています。高校生をおもな対象としていますが、当日は、キャンパス見学ツアーや体験講義、成蹊大学ガイダンスなどの多数のイベントが行われ、どなたでもご参加いただけます。

- 第一回 七月三十日(土)・三十一日(日)
第二回 九月十七日(土)・十八日(日)
第三回 十一月十九日(土)・二十日(日)
各回とも十時より受付開始で、事前の申込みは不要です。時間内は入退場自由で十七時終了予定です。

また、本学では、いつでもキャンパスをご見学いただけるよう、土曜日・日曜日・祝日には(年末年始等は除く)学園史料館内にキャンパスインフォメーションセンターを開設しています。

学位授与式 3月19日



要する資金や講師の無償派遣を受け入れる講座)を開設しています。このうち、一九九九年に武蔵野市からの寄附により開設した「総合科目(環境NPOの現在)」は、自治体からの寄附による講座としては全国で初めてであり、朝日新聞などの全国紙でも大きく取り上げられました。これ以降、毎年「武蔵野市寄附講座」として、特色ある講座を開設しています。

今年度は、国際教育センターが全学部を提供する国際教養科目の一つとして、「現代を生きる(生命倫理の諸相)」と題し、後期に開講します。この科目では、安部圭介法学部助教授がコーディネーターとなり、臓器移植や生殖補助医療、遺伝子診断、安楽死といった行為における生命倫理に関する問題を広い視野から見つめていきます。講師には、多様な学問分野の研究者や生命倫理が

新健診システム

健康支援センター(大学保健室)では、健診委託機関である社団法人労働保健協会と共同で、他人に個人情報を見られる心配のない、ペーパーレス健診システムを開発し、今年度の健康診断より採用しました。健診結果については、誤送付による個人情報流出などを防ぐため、ホームページによる健診結果の閲覧を開始し、運用しています。

また、自動測定器の導入と複数の端末コンピュータ、ならびにメインサーバーを有線LANで結



入学式 4月5日



伝 四大運動競技大会

成蹊・武蔵・成城・学習院の四大学で競い合う四大運動競技大会(四大戦)。今年度の五十六回大会は、十月二十一日から二十三日まで成城大学で行わ

れ、今年度は、毎年テーマを決めて連続講演会を開催しています。今年度は「安全・安心を考える」を統一テーマに開催されます。第一回は、五月十九日に「軍事は安全を保障するか」と題し、東京国際大学教授の前田哲男氏に、第二回は六月十六日に「中国は本当に脅威か」と題し、獨協大学講師の上村幸治氏にお話しいただきました。

第三回は、評論家の櫻井よしこ氏をお迎えし、七月十四日(木)十三時から十四時三十分まで大

学五号館二〇一教室において「デジタル化でプライバシーはどうなる?」と題し、行う予定です。詳細は、ホームページでもお知らせ

「……たくさん拍手の中を歩いてきた、今の気持ちはどうですか。これから、みなさんには楽しい小学校生活が待っています。……成蹊小学校の中には、たくさん遊び場があります。ポプラグラウンド、トンネル山、スパイダーネット、ジャングルジム、

入学式の一部再現

―― 年生百十二名、国際学級二十五名(四・五・六年生)の子どもたちが新しく私たちの仲間に加わりました。新しい仲間たちを心から待ち望んでいた思いを四名の代表児童(六年生)が「歓迎の言葉」で述べています。

松林などです。いろいろな学年の子が、鬼ごっこ、サッカー、野球、秘密基地づくりなどをして遊んでいます。トンネル山は、特にみなさん一年生が大好きな遊び場です。たくさんのお友達と鬼ごっこをしています。グラウンドでは男の子たちがサッカーや野球をしています。女の子には一輪車が人気です。家に帰るとひざが真っ黒だったり、くつの中に砂がたくさん入っていたり、校内着のズボンが破れていたりとすることがよくあります。お母さんはびっくりしますが、それは学校で元気に遊んだからです。それから読書が好きな子は、

たくさん本がある図書館、ものづくりが好きな子は美術室がおすすめです。……」(川邑 夏美)

「……成蹊小学校の行事について話します。遠足……春と秋にあります。一年生のみなさんは、ぼくたち六年生と井の頭公園へ……。そのあとすぐに、運動会に向けての練習が始まります。毎日、毎日練習です。当日は全学年が赤組、白組に分かれて、得点を競います。みんな、燃えまくりです。夏には夏の学校があります。箱根にある寮に行きます。……全

員でお泊りに挑戦です。ロープウェイや海賊船に乗ったりして、楽しく過ごします。みんなとても寝そすがいいのでおどろいてしまいます。秋になると文化祭があります。劇や展示の発表があります。去年は「マツケンサンバII」をみんなでおどりました。冬が近くなると今度は音楽会です。音楽会は日頃の音楽の授業の成果を発揮します。……三学期になると、ドッジボール大会やマラソン大会があります。マラソン大会でゴールしたあとにはおいしい……いや、今は内緒にしておきましょう。このように本当に楽しい行事



2004年度(2005年3月卒業)高等学校卒業生のおもな進路

2005.5.16現在

進学者内訳		卒業生総数	313
成蹊大学	104(内部推薦103)	進学者総数	236
国公立大学	26		
私立大学	101		
専門学校	2		
外国	3		
その他	77		

● 成蹊大学

経済学部	49	文学部	15
理工学部	10	法学部	30

● 国公立

東京大学	5	一橋大学	2	北海道大学	1
首都大学東京	5	お茶の水女子大学	1	横浜国立大学	1
東京工業大学	3	東京医科歯科大学	1	横浜国立大学	1
筑波大学	2	東京外国語大学	1		
東京農工大学	2	東京芸術大学	1		

● 私立

早稲田大学	18	日本女子大学	2	創価大学	1
慶應義塾大学	11	星薬科大学	2	帝京大学	1
上智大学	10	明治大学	2	東京農業大学	1
中央大学	5	立教大学	2	桐朋学園大学	1
東京薬科大学	5	跡見学園女子大学	1	東邦大学	1
東京理科大学	5	学習院大学	1	新潟薬科大学	1
日本大学	4	工学院大学	1	福岡大学	1
北里大学	3	国際基督教大学	1	法政大学	1
青山学院大学	2	芝浦工業大学	1	武蔵野美術大学	1
共立薬科大学	2	順天堂大学	1	立命館アジア太平洋大学	1
多摩美術大学	2	城西大学	1	立命館大学	1
東京医科大学	2	昭和大学	1	龍谷大学	1
日本歯科大学	2	女子栄養大学	1		

文化部・運動部の活躍

- 文化部**
- 天文気象部
 - 学会名：日本天文学会ジュニアセッション 3月27日 於 明星大学
 - 題名：トランジット法による系外惑星探査
 - 発表者：高嶋 寛、小野さなえ、川田 賢、小山裕依子、早水友洋
 - 運動部
 - 中学サッカー部
 - * 春季大会 都大会 …………… 1回戦
 - 中学女子バレーボール部
 - * 冬季大会 第9ブロック予選 …………… 3位(初)
 - * 春季大会 第9ブロック予選 …………… 準優勝(初)
 - 都大会進出
 - * 多摩地区大会 …………… 準ベスト8(初)
 - 高校馬術部
 - 全国高校選手権大会
 - * 関東高等学校リーグ戦 …………… 5位(団体)
 - 高校硬式テニス部(男子)
 - * 全国選抜高校テニス大会
 - 団体戦 …………… ベスト32
 - 中村浩大、米良充史、中村祐基、荻田脩平、倉橋秀典、小杉周平、宮本武明、岩橋孝平、長門石朋彦
 - 個人戦 …………… 中村浩大 2回戦
 - 高校柔道部
 - * 関東高等学校柔道大会東京都予選会 団体戦 …………… ベスト32
 - 高校ラグビー部
 - * 東京都高等学校総合体育大会 …………… 3位(関東大会へ出場)
 - 高校剣道部
 - * 東京都高等学校春季剣道大会
 - 女子団体戦 …………… ベスト32
 - 男子団体戦 …………… 3回戦
 - 女子個人戦 …………… 釣部真里英 ベスト32
 - * 全国高等学校剣道大会第8支部 …………… 女子団体戦2回戦を突破し、都大会へ

入学式

―― 〇〇五年度の中・高の入学式はこの日を待ちわびていたかのように桜もほほ満開の中、厳かに執り行われました。中学校は国際学級三年の編入者も含めて二百五十四名、高等学校では三百三十四名の新入生を代表して、横田達朗君と太田奈名子さんが力強く入学の言葉を述べました。

中学校遠足と高等学校体育大会

中学校の遠足と高校の春の体育大会が前日の雨で危ぶまれましたが、予定どおりに五月十三日に行われました。

中学一・二年生は夏の学校の、三年生は修学旅行の予行演習的要素を持つ遠足ですが、中一は昨年同様、稲荷山コース(一丁平、高尾山頂下、六号路)というコースを自然観察をしながら歩くことを重視し、中二も藤野駅前広場、馬山頂、明王峠、与瀬神社、相模湖駅というコースを集団登山歩行を重視して実施しました。道が滑りやすく苦勞する所もありましたが、緑豊かな中で一日を過ごすことができました。中三は修学旅行での班別行動を想定して実施しました。午前中は東京国立博物館、国立科学博物館、上野動物園を見学し、午後は両国の江戸東京博物館を見学しまし



高校体育大会

中学2年生の遠足

この日、高等学校では体育大会を実施し、バレーボール、バスケットボール、サッカー、ソフトボール、ドッジボール、キックベース、卓球などの競技がクラス対抗で行われました。一年生は入学後初めて、二年生にとってもクラス替え後初めての行事で、大いに親睦を深めることができました。多くのクラスが個性的なデザインのお揃いのTシャツを着用し、それぞれの競技に熱戦と応援を展開しました。

中学校球技大会・見学会

中間試験が終わった翌日の六月二日、一・二年生の球技大会が行われました。一年生は男女共にドッジボール、二年生は男子がサッカー、女子はドッジボールでしたが、新しいクラスで、お互いに力を合わせて競技に臨みました。

翌六月三日には一・二年生の見学会が行われました。一年生は狂言大蔵流山本会、山本東次郎師一門をお招きして大教室で鑑賞しました。狂言という古典芸能に触れ、日本の伝統的な文化を知るとともに、「聴く」「見る」姿勢を身に付けたことと思います。二年生は三つのコース(J・A・L整備工場見学コース、日銀・貨幣博物館見学コース、読売新聞・通信総合博物館見学コース)に分かれ、交通・金融・報道、それぞれの社会の現場や資料館などの見学を通じて、歴史や今を知り、社会への関心・理解を深めてきました。

高等学校遠足

中間試験が終わった翌日の六月三日、高校の遠足が行われました。この遠足では先に行われた体育大会同様、クラスの親睦を図ることを大きな目的としております。クラスごとに遠足委員が中心となり立案、下見をし、出かけて行くというスタイルをとっております。今回の遠足は場所によっては雨が多少降った所もあ

たようですが、海、山、川などで楽しんだ後に、ほとんどのクラスでバーベキューをして有意義な一日を過ごしました。

中学校修学旅行

例年どおり五月三十日から六月三日の四泊五日の日程で中学三年生が参加して修学旅行を実施しました。一日目は新幹線で新大阪に向かい、法隆寺・中宮寺を巡り、若草山に登り、宿舎のホテル大和路に入りました。二日目は学年を二つに分け、平城宮跡・薬師寺・飛鳥寺等を見学しました。三日目は南大門から二月堂、奈良公園を散策し、興福寺国宝館・東寺・西本願寺を経て、宿舎である洛北に入りました。四日目は一日班別行動で嵯峨野・洛西・東山を見学しました。最終日は三十三間堂・清水寺を回り、午後の新幹線で帰京しました。この修学旅行では事前に国語や歴史、美術等の授業で学んだ史跡や建築物、仏像、美術品などに現地で見学し、日本の文化について、よりいっそうの理解を深めたことと思います。

文化・運動部の活躍

文化・運動各部門はそれぞれに活発な活動をしています。文化部では高校の天文気象部が今年も三月二十七日に明星大学で開かれた日本天文学会のジュニアセッションで発表し、四月十日には朝日新聞本社において、南極昭和基地、カリフォルニアとの三元中継(日米ライブフォーラム)に参加しました。いずれも全国レベルのものです。運動部では中学女子バレーボール部が第九ブロック春季大会で準優勝(初)し、四大会連続四回目の都大会出場を果たしました。今後の活躍が期待されます。また、高校男子硬式テニス部は全国選抜高校テニス大会に出場し、団体戦でベスト三十二と健闘しました。高校ラグビー部は東京都高等学校総合体育大会において三位になり、関東大会出場を決めました。その他の部も夏に向けて活発に活動しております。

2004年度(2005年3月卒業)高等学校卒業生のおもな進路
2005.5.16現在

進学者内訳

成蹊大学	104(内部推薦103)	卒業生総数	313
国公立大学	26	進学者総数	236
私立大学	101		
専門学校	2		
外国	3		
その他	77		

● 成蹊大学

経済学部	49	文学部	15
理工学部	10	法学部	30

● 国公立

東京大学	5	一橋大学	2	北海道大学	1
首都大学東京	5	お茶の水女子大学	1	横浜国立大学	1
東京工業大学	3	東京医科歯科大学	1	横浜市立大学	1
筑波大学	2	東京外国語大学	1		
東京農工大学	2	東京芸術大学	1		

● 私立

早稲田大学	18	日本女子大学	2	創価大学	1
慶應義塾大学	11	星薬科大学	2	帝京大学	1
上智大学	10	明治大学	2	東京農業大学	1
中央大学	5	立教大学	2	桐朋学園大学	1
東京薬科大学	5	跡見学園女子大学	1	東邦大学	1
東京理科大学	5	学習院大学	1	新潟薬科大学	1
日本大学	4	工学院大学	1	福岡大学	1
北里大学	3	国際基督教大学	1	法政大学	1
青山学院大学	2	芝浦工業大学	1	武蔵野大学	1
共立薬科大学	2	順天堂大学	1	武蔵野美術大学	1
多摩美術大学	2	城西大学	1	立命館アジア太平洋大学	1
東京医科大学	2	昭和大学	1	立命館大学	1
日本歯科大学	2	女子栄養大学	1	龍谷大学	1

入学式の一部再現

—— 年生百十二名、国際学級二十五名(四・五・六年生)の子どもたちが新しく私たちの仲間に加わりました。新しい仲間たちを心から待ち望んでいた思いを四名の代表児童(六年生)が「歓迎の言葉」で述べています。

「…たくさんの拍手の中を歩いてきた、今の気持ちはどうですか。これから、みなさんには楽しい小学校生活が待っています。…成蹊小学校の中には、たくさんの遊び場があります。ポプラグラウンド、トンネル山、スパイダーネット、ジャングルジム、

松林などです。いろいろな学年の子が、鬼ごっこ、サッカー、野球、秘密基地づくりなどをして遊んでいます。トンネル山は、特にみなさん一年生が大好きな遊び場です。たくさんのお友達と鬼ごっこをしています。グラウンドでは男の子たちがサッカーや野球をしています。女の子には一輪車が人気です。

家に帰るとひざが真っ黒だったり、くつの中に砂がたくさん入っていたり、校内着のスボンが破れていたりすることがよくあります。お母さんはびっくりしますが、それは学校で元気に遊んだからです。

それから読書が好きな子は、

たくさんの本がある図書館、ものづくりが好きな子は美術室がおすすめです。…」(川邑 夏美)

「…成蹊小学校の行事について話します。

遠足…春と秋にあります。一年生のみなさんは、ぼくたち六年生と井の頭公園へ…。

そのあとすぐに、運動会に向けての練習が始まります。毎日、毎日練習です。当日は全学年が赤組、白組に分かれて、得点を競います。みんな、燃えまくり

夏には夏の学校があります。箱根にある寮に行きます。…全

員でお泊りに挑戦です。ロープウェイや海賊船に乗りたりして、楽しく過ごします。みんなとても寝ぞうがいたのでおどろいてしまいます。

秋になると文化祭があります。劇や展示の発表があります。去年は「マッケンサンバII」をみんなでおどりました。

冬が近くなると今度は音楽会です。音楽会は日頃の音楽の授業の成果を発揮します。

…三学期になると、ドッジボール大会やマラソン大会があります。マラソン大会でゴールしたあとにはおいしい…いや、今は内緒しておきましょう。

このように本当に楽しい行事



文化部・運動部の活躍

文化 部

- 天文気象部
学会名: 日本天文学会ジュニアセッション 3月27日 於 明星大学
題 名: トランジット法による系外惑星探査
発表者: 高嶋 寛、小野さなえ、川田 賢、小山裕依子、早水友洋

運 動 部

- 中学サッカー部
* 春季大会 都大会 ……………1回戦
- 中学女子バレーボール部
* 冬季大会 第9ブロック予選 ……………3位(初)
* 春季大会 第9ブロック予選 ……………準優勝(初)
都大会進出
* 多摩地区大会 ……………準ベスト8(初)
- 高校馬術部
全国高校選手権大会
* 関東高等学校リーグ戦 ……………5位(団体)
- 高校硬式テニス部(男子)
* 全国選抜高校テニス大会
団体戦 ……………ベスト32
中村浩大、米良充史、中村祐基、荻田脩平、倉橋秀典
小杉周平、宮本武明、岩橋孝平、長門石朋彦
個人戦 ……………中村浩大 2回戦
- 高校柔道部
* 関東高等学校柔道大会東京都予選会 団体戦 ……………ベスト32
- 高校ラグビー部
* 東京都高等学校総合体育大会 ……………3位(関東大会へ出場)
- 高校剣道部
* 東京都高等学校春季剣道大会
女子団体戦 ……………ベスト32
男子団体戦 ……………3回戦
女子個人戦 ……………釣部真里英 ベスト32
* 全国高等学校剣道大会第8支部 ……………女子団体戦2回戦を突破し、都大会へ

「ぼくは一年生のときの失敗の話をしませう。」

(目黒 颯)

「ぼくは一年生のときの失敗の話をしませう。」

成蹊小学校にはたくさんのお話があります。

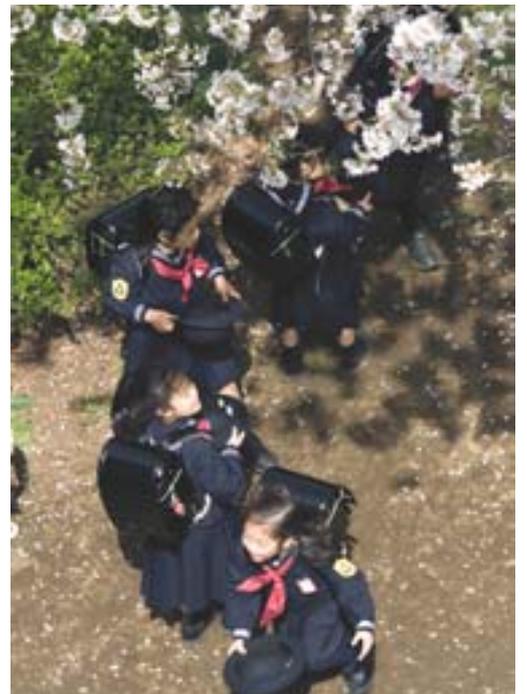
教室の近くにも大きな木があります。その木に蜂が巣を作ってしまったのです。『刺されたりするとあぶないので、木の近くに行くのはだめです』と先生に言われました。でも、だめと言われると、ぼくは逆にやってみたくなる性格なのです。とうとうぼくは、巣を見に近づいて行っ



てしまったのです。幸い蜂に刺されることはありませんでしたが、先生に見つかってともしかられました。今、ぼくは先生にしかられてよかったと思っています。もし先生が気づいてくれなかったら、蜂に刺されてたいへんなことになっていたかもしれません。

(岩田 祐朋)

「私は昨年九月、国際学級に入学しました。父の仕事の関係で、生まれたときからずっと海



外で暮らしていたので、日本のことはほとんど知りませんでした。電車に一人で乗ったことももちろん、外を一人で歩いたこともありませんでした。そんな私でしたが、先生やお友達に助けられ、今では、もう何年も成蹊小学校に通っている気がします。

勉強は、それぞれ教科の先生

がやさしく教えてくださいます。苦手だった漢字は少し得意になりました。担任の先生の赤ペンの返事が楽しみで、毎日、日記も書いています。休み時間には、普通学級の人たちとも一緒に遊び、朝早くから、下校時刻ぎりぎりまで、思いきって遊んでいます。

二月に行った国際理解の授業では、私たち国際学級のみならず、先生役になって、普通学級の人たちに、自分の生活していた

国の様子を紹介しました。いつも普通学級の人たちに教えてもらうことが多かった私たちですが、この授業を通じて大きな自信ができました。

新しい世界に入って、少し緊張や不安があるかもしれませんが、私たちと一緒に楽しい学校生活を送りましょう。」

(寺本 美欧)

「まだまだ話したいことはたくさんありますが、紹介しきれません。ぼくは、こんな楽しい成蹊小学校が大好きです。みなさんも先生や友達、たくさんのお友達に囲まれて、きっと大好きになるにちがいありません。

新入生のみなさん、ぼくたちはみなさんを心から歓迎します。」

(岩田 祐朋)

次代を見据えた胎動が

創

立九十年目はたくさん新しい教職員(非常勤も含めて)を新たに加えて順調なスタートを起しました。

学校としての「少人数教育(二十八人学級)」の形はまだ低学年のみで全学年に行き渡るものはありません。しかし確実に「成蹊教育」の原点に回帰しながら、さらに次代を見据えた「成蹊教育」創造の動きが胎動し始めています。校内の随所から子どもたちの元気な明るい声が聞こえてきます。



アロマテラピー

精油の抽出部と主な作用

抽出部	主な精油の種類	主な作用
花弁	イランイラン、カモミール	皮膚の細胞活性
	ジャスミン、ローズ、ネロリ	神経高揚や鎮静、幸福感など
	クラリセージ、ラベンダー	生殖器系の強壮
果皮	ベルガモット、レモン、ライム	抗うつ作用
	スイートオレンジ、マンダリン	消化器系の強壮
	グレープフルーツ	利尿作用、解毒作用
種子	ブラックペッパー、フェネル	消化器系・生殖器系の強壮
葉	ユーカリ、ティートリー、ペパーミント	呼吸器系・循環器系の強壮
根(根茎)	ジンジャー、パチパー	滋養強壮、精神安定
木部	サンダルウッド、ローズウッド	泌尿器系・呼吸器系の強壮、保湿
樹脂	乳香(フランキンセンス)	傷の治療、呼吸器系の強壮
	没薬(ミルラ)、安息香(ベンゾイン)	精神安定
常緑樹の葉	ジュニパー、サイプレス	収斂作用、循環器系強壮、解毒作用

吉祥寺の街を歩くと気持ちの良い日差しを感じる季節になりました。街路樹を抜ける木漏れ日が午後の街並を映し出しています。そんな日差しの中、ふと気付くと日頃気になかったアロマ&ハーブのお店が目が留まります。吉祥寺の洒落た街並と、どこか涼しげなアロマのお店、今回は、最近巷で関心の高いアロマテラピーについて触れてみたいと思います。

アロマテラピーとは、花や樹木および果皮などから抽出した、天然の香り豊かなエッセンシャルオイル(精油)を使って行われる植物療法や自然療法の一つで、主に嗅覚を介して効能を発揮するものと言えます。

ちなみに日本アロマテラピー協会では、アロマテラピーを次のように定義しています。

「アロマテラピーとは、植物の精油を用いて、

ユ等の香りの効用を楽しむ

二、身体や精神の恒常性の維持と促進をはかる

三、身体や精神の不調を改善し正常な健康を取り戻す役割を担うもの、かつホリスティックな観点から美と健康を増進するために人間が生み出した自然療法である」という訳で、油性成分で嗅覚刺激をすることで体に良い効用を与えようとするものなのです。

ハーブティーやハーブ料理の主成分がティーや料理に溶けだした植物の水溶性成分である点はアロマテラピーとの大きな違いです。より組織移行性の高い精油を用いているアロマテラピーでは、マッサージなど、皮膚に擦り込んで有効です。

アロマテラピーの歴史

アロマテラピーの歴史は古く、中国三千年の歴史をさらにさかのぼり、紀元前五千年以上も前の遠く古代エジプトに端を発すると

言われています。インダス文明の遺跡からは、精油を抽出するための器具が発見されたという記録もあるようです。さらにツタンカーメンの棺からも、十六種類の芳香植物から成るキフイと呼ばれる香りの塊が見つかっています。

ギリシャ・ローマ時代になるとオリブ油に花やハーブの香気を吸収させて医療や美容目的でマッサージが行われていました。さらに香気によってリラククス作用や刺激作用があることなども発見されました。

近代アロマテラピーでは、生化学者ルネ・モーリス・ガットフォセの著書『アロマテラピー』にある様に、精油の芳香組成成分の生化学的・医学的な解明が進みました。その後、フランス人軍医ジャン・バルネ博士による精油の持つ治療力の発見や、マルグレット・モリー夫人によるマッサージとの併用で美容や幸福感を得られる様になり、ホリスティック・アロマテラピーとしての今日の形が築かれたのです。

精油の作用

この様な精油ですが、種類により様々な働きをします。心身への作用として鎮静作用、鎮痛作用、消化や食欲の調節作用、ホルモンの調節作用や去痰作用、さらに強壮作用、免疫賦活作用、利尿作用、鎮痙作用などがあります。

センター長の独り言

櫻井勝

今日も何かを期待してデッキに上がっている。バリ島とロンボク島からなるロンボク海峡だ。抱え込んできた医学書達は未だにほとんど荷を解かずにある。それというのも、本を読んでいる暇がないことに気付いてしまったのだ。「船室にこもって本を読んでいる場合ではない」。そんな風に思ってしまったのである。雄大なバノラマを背景とした積乱雲の造形であったり、刻一刻とその色合いを変えて行く三百六十度の大空であったり、あるいは赤道付近の日差しを激しく照り返す水面であったり…。日本を離れ約二週間、もちろん日頃の勤務で鍛え抜かれた船乗り達には病気がらしい病気はない。つまり、日がな一日何もすることがないはずであった。しかし、私の好奇心と美意識は今乗る船がとてつもなく貴重な空間に誘っていると確信させたのである。



「ドクター、BOMBAY SAP PHIRE、どお？ 当番が明けたら一杯…。クジラの骨で作った手製のパイプ、見せるよ…。シワのついた真っ黒な顔がニッと笑った。カッコ良い。大海原では全てが映画のワンシーンとなる。」

(つづく)

お肌への作用でも皮膚の引き締め効果と保湿作用など美容効果もあります。さらに、細菌やウイルスに対しては殺菌作用、抗菌作用、抗真菌作用、抗ウイルス作用や殺虫・虫除け作用などを持つものもあります。

現在では不眠症やうつ病など

にも応用されています。語り尽くせぬアロマテラピーの世界、この夏、心地よい癒しが欲しくなったら、アロマテラピーにトライしてみたいかがでしょうか？ 素敵な香りに新しい発見があるかもしれません。

看護師 廣瀬愛

二〇〇六年度 入学試験日程

【大学】

A方式:3教科型

学部	学科・募集人員		出願期間	試験日	合格発表日	
経済学部	経済経営学科	地歴公民型	150	1月6日(金)～1月31日(火) (消印有効) ただし2月1日(水)に本学で 窓口受付を行います。	2月13日(月)	2月21日(火)
		数学型	50			
法学部	法律学科	104	2月14日(火)		2月22日(水)	
	政治学科	52				
文学部	英米文学科	62	2月12日(日)		2月20日(月)	
	日本文学科	46				
	国際文化学科	55				
	現代社会学科	50				
理工学部	物質生命理工学科	45	2月11日(土)		2月19日(日)	
	情報科学科	45				
	エレクトロメカニクス学科	50				

C方式:大学入試センター試験利用型

学部	学科・募集人員		出願期間	試験日	合格発表日
経済学部	経済経営学科	3科目型	1月6日(金)～1月20日(金) (消印有効)	1月21日(土) 1月22日(日) (大学入試 センター試験日) 本学での2次試験は実施しない。	2月10日(金)
		5科目型			
法学部	法律学科	36			
	政治学科	24			
文学部	英米文学科	12			
	日本文学科	8			
	国際文化学科	8			
	現代社会学科	10			
理工学部	物質生命理工学科	25			
	情報科学科	25			
	エレクトロメカニクス学科	30			

AO マルデス方式

学部	学科	募集人員		出願期間	審査日 (1次)	合格発表 (1次)	審査日 (2次)	合格発表 (2次)
		一般	特別					
経済学部	経済経営学科	35	帰国生特別受験 社会人特別受験 外国人特別受験 各学科:若干名	9月21日(水) ～ 10月6日(木) (消印有効) ただし 10月7日(金)は 本学で窓口受付 を行います。	10月22日(土)	10月28日(金)	11月5日(土)	11月12日(土)
法学部	法律学科	26						
	政治学科	14						
文学部	英米文学科	10						
	日本文学科	5						
	国際文化学科	7						
	現代社会学科	8						
理工学部	物質生命理工学科	10						
	情報科学科	10						
	エレクトロメカニクス学科	10						
				(実技/思考力) 10月29日(土) (面接) 10月30日(日)				

【高等学校・中学校・小学校】

募集年次		募集人員	出願期間	試験日	合格発表日	
高等学校	第1学年	約80名	1月23日(月)～1月30日(月)	2月10日(金)	2月11日(土)	
	海外帰国子女	第1学年 若干名	2月2日(木)～2月6日(月)	2月14日(火)	2月15日(水)	
	第2学年転編入	若干名	3月1日(水)～3月13日(月)	3月14日(火)	3月15日(水)	
中学校	第1学年	男子 約70名 女子 約40名	1月20日(金)～1月23日(月)	2月1日(水)	2月2日(木)	
	国際学級(4月期入学)	第1学年 10名 第2学年 若干名 第3学年 若干名	12月8日(木)～12月14日(水)	1月11日(水)	1月13日(金)	
	国際学級(9月期入学)	第1学年 若干名	2005年6月13日(月)～6月21日(火)	2005年7月5日(火)	2005年7月6日(水)	
小学校	第1学年	112名(男子56名、女子56名)	10月3日(月)～10月11日(火)	男子 11月1日(火)午前と 2日(水)～4日(金)の1日 女子 11月1日(火)午後と 2日(水)～4日(金)の1日	11月5日(土)	
	国際学級	第4学年	14名	1月11日(水)～2月28日(火)	3月4日(土)	3月6日(月)
		第5学年	6名	第I期 1月11日(水)～2月28日(火)	3月4日(土)	3月6日(月)
				第II期 2006年9月を予定	未定	未定



●役職者

■成蹊学園

理事長	岸 暁
専務理事	加藤 節
総務部長	池田 秀治
財務部長	野田 吉政
健康支援センター長	櫻井 勝
国際教育センター所長	武藤 恭彦
学園情報センター長	涌井 秀治

■成蹊大学

学長	栗田 恵輔
経済学部長	高木新太郎
大学院経済学研究科長	
大学院経営学研究科長	新村 秀一
理工学部長兼工学部長	上原 信吾
大学院工学研究科長	
文学部長	中里 明彦
大学院文学研究科長	
法学部長	亀嶋 庸一
大学院法政政治学研究科長	
大学院法務研究科長	廣部 和也
企画運営部長	伊藤 暉夫
学務部長	鐘川 誠司
就職部長	秋庭 正典
学生相談室長	牟田 悦子
学生部長	渡辺 一衛
図書館長	鈴木日出男
アジア太平洋研究センター所長	鈴木 健二

■成蹊高等学校・中学校

校長	谷 正紀
副校長	吉崎 純二
教頭	両角 雄功
教頭	和田 一誠

■成蹊小学校

校長	岡崎 忠彦
教頭	金納 善明



学園広報57号19ページの役職者に下記誤りがございました。関係者各位にお詫び申し上げますとともに訂正いたします。

(誤)「学生部長 大久保 洋子」
→「学生部長 渡辺 一衛」
(追加)「大学院法務研究科長 廣部 和也」

●在学生および教職員数 (2005年5月2日現在)

所属	在学生			教職員数			
	男	女	計	専任	非常勤	計	
学園 国際教育センター	—	—	—	4	5	9	
大学	大学院	工学研究科	129	20	149	—	—
		経済学研究科	7	1	8		
		法政政治学研究科	11	5	16		
		文学研究科	19	28	47		
		経営学研究科	22	13	35		
	大学院計	188	67	255	16	384	
	法務研究科	83	28	111			
	学部	経済学部	1,287	816			2,103
		理工学部／工学部	1,367	237			1,604
		文学部	376	1,642			2,018
法学部		1,207	866	2,073			
学部計	4,237	3,561	7,798	209	108	109	
共通	—	—	—	1			
大学計	4,508	3,656	8,164	226	492	718	
高等学校	580	419	999	47	36	83	
中学校	480	285	765	41	14	55	
小学校	431	281	712	36	8	44	
養護教諭	—	—	—	3	—	3	
事務・技術・労務職員	—	—	—	200	—	200	
合計	5,999	4,641	10,640	557	555	1,112	

※専任には、特別任用教授・特別任用教諭・客員教授・常勤講師・契約職員を含む。
事務職員には、契約職員カウンセラーおよび実習助手を含む。

おもな学校行事予定(7月～9月)

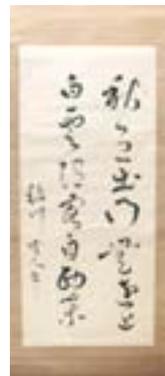
	大学	高等学校	中学校	小学校
7月	【学部・研究科】 6/25(土)、2(土)、16(土) 補講日 15(金) 前期授業終了 19(火)～8/1(月) 前期試験 25(月)～26(火) 前期レポート試験(提出期間) 【法科大学院】 19(火) 前期授業終了 20(水)～26(火) 補講期間 27(水)～8/6(土) 前期試験	2(土)～7(木) 期末テスト 20(水) 終業式・保護者会	4(月)～7(木) 期末テスト 5(火) 国際学級編入学試験 18(月)～21(木) 1年夏の学校 2年夏の学校 23(土) 終業式・保護者会	1(金) オープンスクール 学校説明会 14(木)～16(土) 1年夏の学校 18(月)～22(金) 3年夏の学校 19(火)～24(日) 5年夏の学校 17(日)～22(金) 6年夏の学校
8月	【学部・研究科】 2(火)～9/21(水) 夏期休業 【法科大学院】 7(日)～9/25(日) 夏期休業			
9月	【学部・研究科】 22(木) 後期授業開始 24(土) 学位授与式(9月卒業) 【法科大学院】 26(月) 後期授業開始	3(土) 始業式 13(火)～14(水) 体育大会 17(土) 五学園教育懇談会	3(土) 始業式 15(木) 体育祭 17(土) 五学園教育懇談会	1(木) 国際5年編入学試験 9(金)～13(火) 4年夏の学校 30(金) 遠足

山梨稲川について

「秋色出門無遠近 白雲隨客自西東 稲川野人書」



山梨雀山筆 山梨稲川像
(静岡県立中央図書館蔵)



山梨稲川書

—— 秋色門を出でて遠近無く 白雲客に随ひ自ら西東 ——
 これは、成蹊学園創立者、中村春二の曾祖父にあたる山梨稲川(やまなしとうせ
 ん)の書である。江戸後期の漢学者であった稲川は、学者として、また詩人としても
 偉大な人物であった。

山梨稲川は明和八(一七七二)年、駿河国庵原(現在の静岡県清水市庵原町)に生
 まれる。二十一の年まで江戸と郷里を往復しつつ断続的に漢学を学んでいたよう
 であるが、その後庵原に戻り、一生を送った。稲川は、日本で初めて専門的に「説文」
 の研究を行った。「説文」は二世紀初頭の中国の字引であるが、当時としては非常に
 完成度の高いもので、中国清朝において盛んに研究されていた。稲川は日本において
 初の「説文」の研究者であっただけでなく、偏(へん)文字の意味を表す、旁(ぼう)つくり・
 文字の読みを表すの両面により、製字の起源を考え、説文の誤りを正し、様々な文
 献からあるべき文字を補うなど、独自の研究方法を見出した。庵原という片田舎に
 いて、江戸のどの学者も考え出すことのできなかった近代的な研究方法を考案した稲川
 の才能が窺われる。

また、彼は漢学者としてだけでなく、漢詩・漢文においてもその才能を発揮した。
 稲川の文は、中村春二により出版された『稲川遺芳』にその一部が見られる。中国の
 詩の大家、俞曲園は、日本人の詩を集めた『東瀛詩選』という詩集を編集した際に、
 稲川の詩を目に留め、日本第一流の詩人であると賞賛している。

山梨稲川は、決して名声を求めず、控えめに、ただひたすら自らの研究に心血を
 注いできた。彼の使った号「稲川野人」とはそんな彼の生き方を表したものであった
 ではないだろうか。

「山梨稲川書」荻野寛之氏所蔵 現在史料館一階中村春二記念室に展示中

成蹊学園広報

2005年7月10日 発行 学校法人成蹊学園 総務部広報課
 東京都武蔵野市吉祥寺北町3-3-1 電話 (0422)37-3517

URL <http://www.seikei.ac.jp> E-mail koho@jim.seikei.ac.jp

